

は ぐ く む

育 夢



深く考える子 思いやりのある子 強くたくましい子

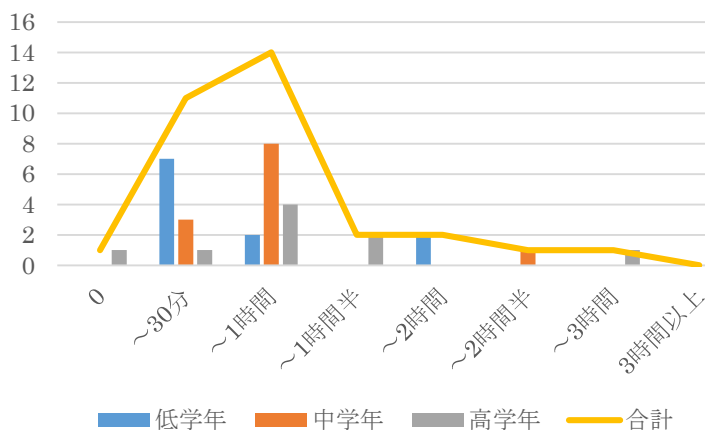
令和3年12月2日（木）

家庭学習の時間、西小では・・・？

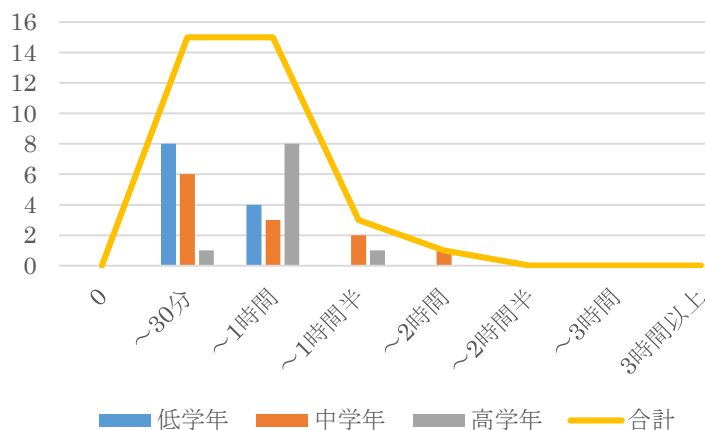
11月30日（火）の北海道新聞に、全国学力学習状況調査についての記事が載っていました。そこには、「町村部学習時間少なく」という小見出しで、「人口の少ない町村部ほど授業以外での学習時間が少ない傾向も明らかになった。」とありました。今回は夏の「児童アンケート」を基に、西興部小学校ではどうなのかをまとめてみました。まずは近年（平成29年～令和3年 夏）のデータをグラフ化してみました。 ※令和3年度のグラフと総合分析は裏面にあります。

「児童アンケート」平日の学校以外での学習時間について

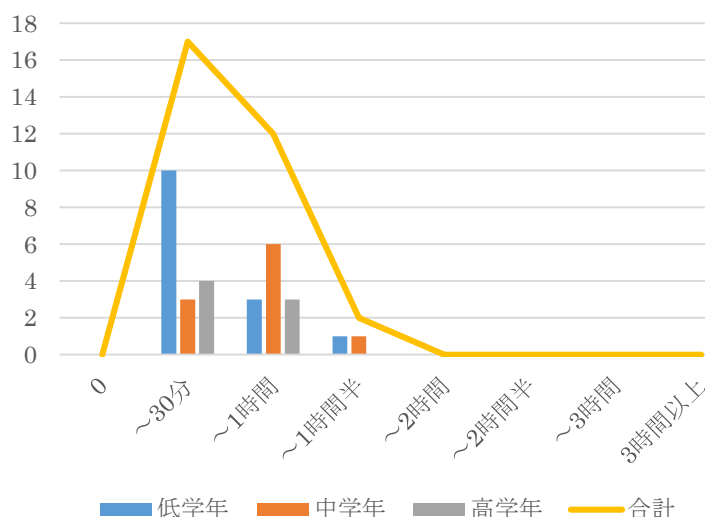
平日の学習時間 平成29年



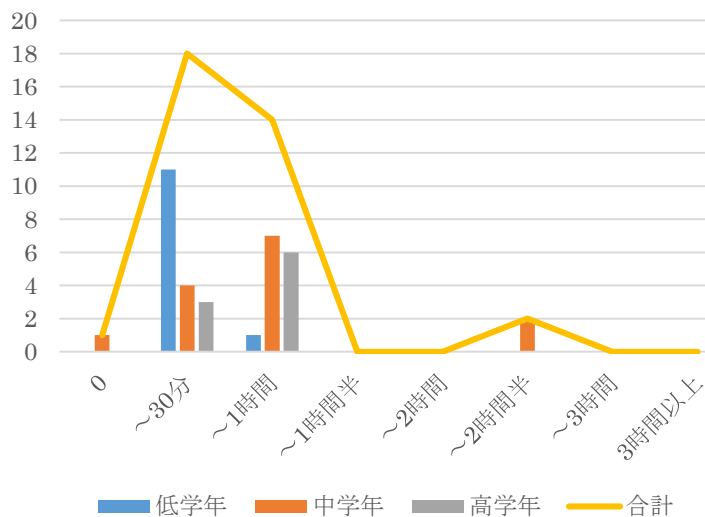
平日の学習時間 令和元年



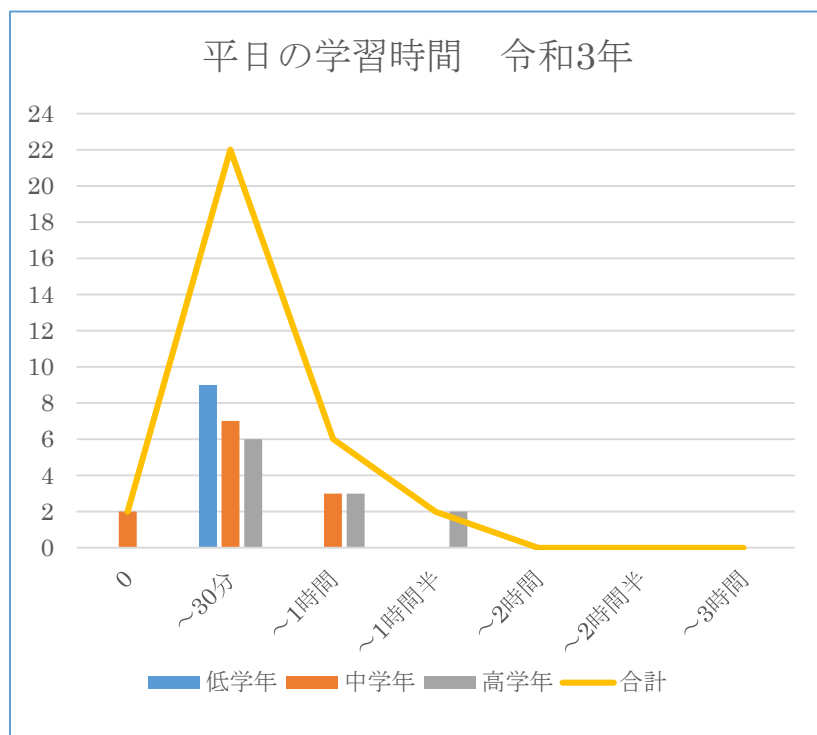
平日の学習時間 平成30年



平日の学習時間 令和2年



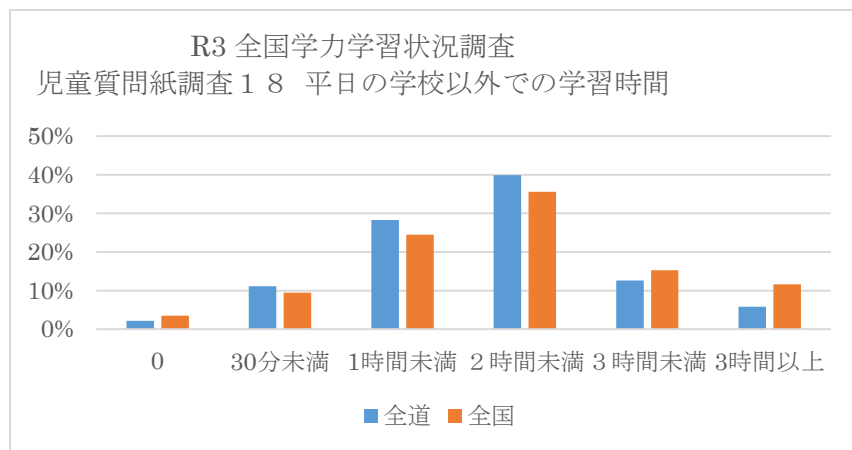
総合分析：低学年を除いて考えると昨年までとの大きな違いが見えてきます。低学年を除けば昨年までは学校以外での学習時間は1時間くらいが主でしたが、年を追うごとに30分程度に移行し、令和3年はついに高学年も30分以下が主となってしまいました。



学校以外での学習は、時間の目安では少なくとも【学年×10+10】分。6年生で言えば70分以上というのが現在の一般的な捉え方です。ここ数年のグラフの変化を見ると、低学年の時の学習時間のまま高学年まで変化しなかった結果、児童全体として大幅に短くなりつつあるということが読み取れます。

下のデータは全国学力学習状況調査における6年生へのアンケート結果です。本校のアンケート調査区分とは異なりますし、以上・未満といった問い方も異なりますが、本校児童の平均的な学習時間がかなり短いことは見て取れます。

この実態を御家庭のみなさんや児童にも理解していただき、時間的な部分でどう改善できるか振り返り見直していく必要があるでしょう。まずは御家庭で・親子で、話題にさせていただけるとありがたいです。



家庭学習の取り組み方についても工夫させていく必要があります。学校では4月に「学びのきほん」という冊子を各家庭に配布いたしました。その中には、学年ごとに家庭学習としてどんなことをやるとよいか、くわしく書かれています。ぜひご活用ください。

また、学校では、iPadの持ち帰りによる家庭学習や宿題なども開

始しましたが、「自分の手でノートに書くことはデジタル機器操作による学習以上に理解や技能の定着を促す」との見解もあり、よりよい学習のためにどういったバランスで取り組ませるのがよいかなどについても研修しているところです。

今回は、学校評価「児童アンケート」から、平日の学校以外での学習時間について取り上げてみました。お子さんの家庭学習などの取り組みについて、何らかの参考になれば幸いです。

